

記念塔

江別市立文京台小学校
学校だより No.15
令和7年2月25日(火)
TEL 386-7700
FAX 386-7710



【大麻中学校区 めざす子ども像】
ともに支え合い 夢や可能性に向かって
たくましく生きる子ども

【文京台小学校 重点目標】
「なりたい自分」を描き、他と共に高め合う文京台の子
～子ども一人一人を主語とする文京台の教職員～

「成長」の実感

校長 田中 美由紀

暦の上では春ですが、氷点下の気温が子どもたちの肌を刺す寒い朝が続きました。スキー学習が終わったグラウンドでは、子どもたちがそり滑りに歓声を上げています。春が近づくとともに、冬の外遊びができなくなるのは少し残念ではありますが、原始林の野鳥の声も、木々の新芽のふくらみも、もうすぐ来る春に向けての準備が整いつつあるようです。

2月には、今年度最後の参観日がありました。子どもたちが保護者の方の来校を楽しみにしている様子や、「発表、緊張する。」と言いながら5時間目の学習に移動する姿から、コロナによる制限のない教育活動が進められるようになったことを今更ながらありがたく思っています。参観日には、多くの保護者の方々が来校くださり、ありがとうございました。4月の子どもたちの様子と重ね合わせながら、この1年間のお子様の成長を実感されたのではないかと思います。

今回の参観日の授業のなかで、4年生が「10歳のありがとう～夢を語ろう～」という題で将来の夢を語り、支えてくれた周りの人に感謝の気持ちを伝えるスピーチが行われていました。一人一人が、消防士、警察官、医師、「周りの人を大切にできる人になりたい」…等の「なりたい自分」「自分の夢」や、「周りの人への感謝」を「自分の言葉」で語っていました。今年度、本校の目指す「なりたい自分を描き、他と共に高め合う文京台の子」の姿がここにあり、1年間の子どもの成長をとてもうれしく感じました。

文京台小学校の子どもたちが今描いている「なりたい自分」や「夢」は、これから変化していくのかもしれませんが、夢の実現に向けて、学校はこれからも子どもたちを信じ、成長を支え、応援し続けていきたいと思っています。

いよいよ3月がやってきます。子どもたちにとって、卒業・進級・進学といった新しいステージに進む時が近づいています。2月28日は「6年生を送る会」が行われます。どの学年も、思い出に残る会を作り上げようと一生懸命練習に励んでいます。6年生の教室をのぞくと、カウントダウンカレンダーが、残りわずかになっていました。卒業の時、これまで積み上げてきた6年間のどの場面を思い出すのでしょうか。子どもたちにとって苦しかった場面も、楽しくてもう一度経験したいと思う場面もあることでしょう。しかし、それらすべてが小学校生活の6年間だと受け止め、積み上げてきた日々に、誇りと自信を持って巣立ってほしいと願っています。自分の成長を実感するとき、支えてくれた人々の存在に気づくことができるでしょう。



3月は学校の大きな節目です。子どもたちが、希望と自信を持って次のステージへ進めるように、この1年間の振り返りと、家庭・地域との連携を大切にしながら教育活動を進めていきます。